

令和7年度地域連携推進会議 議 事 録

提出日：令和7年11月26日

施設長	次 長	係 長	職 員	記 録 者
				次 長
				司 会 者
実施日時	令和7年11月19日(水) 10時00分から11時30分			次 長
実施場所	会議室			
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決第三者委員（1名参加） ・お客様家族代表（A棟家族代表1名、B棟家族代表1名参加） ・苦情解決委員代表お客様（A棟より1名参加） ・寮長、次長、援助係長 			

議 題	議 事 の 概 要 及 び 経 過 決 定 事 項
1. 開会	開会挨拶（寮長）
2. 福島県ひばり寮の運営状況報告	<p>今年度より地域連携推進会議が義務化されました。施設を地域の方に、より知って頂くことを目的としています。施設が孤立化せず地域との繋がりを太くする機会と捉え会議を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>ひばり寮の事業としまして生活介護事業、施設入所支援事業、短期入所事業を行っております。主な日中活動支援として 散策やドライブ、移動販売や調理体験（おやつ作り等）を行い身体機能の維持向上と生活意欲の充実を目的とした活動を行っています。施設行事では、夏まつりや忘年会等、季節の行事を楽しんで頂いています。ひばり寮の特色としまして作業療法士・理学療法士を1名ずつ配置し、お客様の希望によりリハビリを実施できます。理学療法では運動やリハビリ器具を通して身体機能の維持・向上のためのリハビリを提供し、作業療法では基本動作や日常生活動作等の訓練を通して社会適応力等の維持・向上のためのリハビリを行っています。その他、管理栄養士による栄養ケアマネジメントによる食事提供や看護師による医療支援によりお客様の健康維持・増進に努めております。</p> <p>昭和59年、旧身体障害者更生施設：定員100名で開所し、平成6年4月から定員80名となりました。現在77名のお客様が利用されています。これまで施設利用後の主な退所理由としては他施設移行が24名、事業団以外の施設移動が125名、地域生活移行（アパート2名、グループホーム6名、在宅69名）、他亡くなられ計385名が退所されています。</p> <p>新型コロナウイルス5類移行も施設内で集団感染がないよう基本的な感染症対策の取り組みは継続しお客様も細心の注意を払って生活されています。</p>
3. 次年度に向けた事業内容について（地域意向確認等の内容について）	<p>（次長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、お客様1名（会議出席お客様）がこれまでも就労支援事業所の見学等を行い（体験も検討中） 地域生活移行に向けた動きを行っていることを紹介する。 ・地域生活移行に関する国の動向として令和8年度から義務化される内容を紹介する。 <p style="text-align: right;">※添付資料参照</p>

	<p>①「地域移行等意向確認等に関する指針の作成」は、現在ひばり寮ではサービス管理責任者を中心に検討・作成中。</p> <p>②「地域移行等意向確認担当者の選任」について会議で協議した結果、ケース担当職員その他、サービス向上委員も担当することとなった。</p> <p>③「意向確認の実施と個別支援計画への反映」では、全お客様に対し現在のサービス利用状況の把握と地域生活移行や施設外の日中活動系サービスの利用に関する意向等について定期的に確認し、サービス管理責任者と個別支援計画書を作成していくことを確認している。</p> <p>・お客様の意向確認では、障害があるがゆえに言葉で伝えることができない方もいる。過去に、かな文字を示してもらいながらコミュニケーションを取ったり、聾啞の方には身振り手振りや文字を通し意思疎通を図っていた。また会議では手話通訳士に来て頂き会議で意見を確認した事例もある。意思決定支援を進めるにあたり一人一人の障がいの特性に合わせた意思確認の手法をとっていく必要がある。その事例（障がいにより言葉が出ないが、興味のある物は目で追うことができる方）を資料により紹介した。</p> <p style="text-align: right;">※ 添付資料参照</p> <p>・ご家族より、施設入所後、地域での生活を進めていく状況について質問がある。ご本人の考えや希望等、変化が常にあるため定期的な意向の確認やご家族の考えも含め方向性を定めて行く流れを説明した。</p> <p>○参加お客様より意見</p> <p>・「今いろいろ事業所を見学しているが（地域生活移行に向け）、自分としてはその地域の生活の場となる環境も見てみたいと思っています。バス停や交通機関の状況、病院やコンビニがあれば良いし、どこまで自分が一人で社会生活できるかをやってみたい、見極めていきたいと思っています。」</p> <p>・「人と対話できないと不安になる。どうコミュニケーションをとるか、外に出てみると分かることもある」</p> <p>・「この施設に入って、どういう経験を積むかも思っている。」</p>
4. 施設見学 (20分間)	<p>○一旦会議を中断し、中央棟、A棟、B棟内、娯楽室等、施設内掲示物の内容とお客様の生活の様子について説明しながら見学（巡回）して頂いた。</p> <p>・思った以上に自由になっているような、満足して過ごされているように感じた。気軽に挨拶や話をしてくれた。（お客様より）</p> <p>・職員の皆さんが、様々な方に対応していることに感心した。 （寮長）一人一人の障がい特性に合わせて対応しています。</p> <p>・見学後の感想として「建物の外からは見えないが、利用している人達が皆明るく活動的で生き生きとしていることに驚いた」等の感想を頂いた。</p>
5. 助言・要望について	<p>○見学（巡回）終了後、会議再開となる。</p> <p>・相談日を設定し、第三者委員も関わっていることで利用者本人にとっては、別の相談窓口がある安心感に繋がるのではと思う。</p>
6. その他	<p>・会議開催前、お客様の権利擁護のため地域連携推進会議で知り得た個人情報 は外部に漏らすことがないようお願いしたい事を説明し、会議参加者へ「個人情報保護に係る同意書」に記名後、施設へ提出して頂いた。</p>
7. 閉会	<p>・寮長より会議へのご協力について感謝を述べ閉会を告げ議事を終了した。</p>

議 題	
3. その他	

議 題	